

普段、夜空を見上げる機会はありますか？

日常的に広がる夜空を、

あえて見る機会は少なくありませんか？

夜空を見上げると輝く星たち。

星を見ていると心が癒される気持ちになりませんか？

そんな夜空の星座を忠実に再現でき、

日中でも気軽に見物できるのが

オホーツク地方で唯一、北網圏文化センターの

プラネタリウムです。

北網圏北見文化センター

# プラネタリウム

★ 従来のプロジェクターは、ドーム周囲に40台の投影機を設置し、1つ1つスライド画像をセットして、順番に切り替えて投影するスライドプロジェクターを使用していました。(パラパラマンガの原理に近いイメージ)

今まで使っていたシステムは陳腐化しており、スライドプロジェクターも製造廃止だとわかっていました。しかし利用者により最新の映像や情報を高いクオリティで提供したいという思いから現在は全天周ハイビジョンに変更。新しいデジタルプロジェクターは、映像部分と黒背景をきっちりとしだし黒は黒として投影されます。そのためプロジェク



プロジェクターで投影するスライド

ターによる星空の投影も旧型に比べ著しく向上しました。

また、従来のスライドプロジェクターでは故障した際、メンテナンスしている期間は上映できませんでしたが、現在のシステムはバックアップ機(予備機)があるため、故障してもすぐ新しい機材と交換でき、上映に一切支障がでません。

★ ドーム全体に投影しているの、リアリティのある映像を楽しむことができます。隣の席が見えない程真っ暗になり平面映像ではなく360度映像なので自分の周り全てに映像が映り、その空間に入り込んだかのような臨場感溢れる迫力と没入感、物語の舞台や現場に立っているような立体感を体験することができます。今まで難しかった黒の映像を黒として投影できるので星空のシーンは見所です。

美術展とのコラボ上映(企画美術展関連イベントとして番組を上映)や、ドームをスクリーン代わりに映画やスライドの上映をするなど、講演会や研修会でも利用されています。これらの企画により従来に比べ入場者数は30%以上



プラネタリウム室の入口

増加しました。北見市外在住の利用者や、幅広い年齢層からも支持されリピーターも増加しています。

上映番組は天文・宇宙・科学に対する興味関心の育成をコンセプトに、利用者の反応やニーズに応えながら選んでいくそうです。プラネタリウムは星空を映し出すだけの堅苦しいイメージを抱いている方もいらっしゃると思いますが、映画を見に行くような感覚で利用できる場所です。

★ 番組は上映権というものがあ、決まった期間しか上映できないことになっています。学習投影用はいつでも提供できるよう永久上映の作品もありますが、それ以外は1年間上映の作品が多く、高額な作品の場合は1ヶ月のみの上映番組もあります。

従来のスライドプロジェクターでは番組変更莫大な時間を要するため、番組の切替は半年に一度、1日



プラネタリウムの操作盤



親子連れでにぎわうプラネタリウム室

3回の上映時間全て同じ番組でしたが、現在のデジタルプロジェクターはアイコンをダブルクリックするだけでどの番組でも上映可能なため、1日3回とも違った番組を上映しています。

★ 同館で、定期的に無料で行っている天体観望会では、身近に感じてもらえるようにと北見の星空をメインに解説をしています。

プラネタリウム機を使ってその時期に見頃な流星群や惑星など少し深い内容で学校の授業とは違った角度から、天文台の研究者や学校の教員を講師に迎え解説を行っています。天気が良ければ望遠鏡で惑星などその時見ごろの天体を観測することもあります。また、子供たちと対話しながら星座を探すなど、利用者にとっても喜ばれています。

今回取材にご協力いただいた、北網圏北見文化センターの多田さんは学



学芸員の多田さん



北見から見える星空

生時代にボランティアとして働いていた時、望遠鏡を覗いたおじいさんが月を見て言った「月ってこんなにデコボコしているんだ、すごいね!」という言葉で天文の学芸員になろうと決意したそうです。同館に赴任するまで長い年月がかかりましたが決意は固く、市の職員になって20年、北網圏北見文化センターへ赴任されました。赴任2年目でスライドプロジェクターから全天周ハイビジョンに変更された第一人者であり、星を見るためだけに海外旅行するほどの星好きの方。

★ 北網圏北見文化センターはオホーツク地方唯一のプラネタリウムなので、「北網圏北見文化センターへ行きたい!」「そこに行けば見ることも知ることができる」と思われる運営・指導を心がけているそうです。

天文に関する情報も今は、インターネットや地上波はもちろん、BS・CSなどでも豊富に入手することができます。しかし、天文観測の技術も格段に進歩しており、昨日の情報がすでに古いものになっていたりします。当館では、その時最新の正確な天文情報を提供することはもちろんですが、あふれる情報を正しく判断し理解することができるよう、情報が常に変化していくことなど、その背景についても伝えられるようにしています。今後はプロジェクターの機能

を有効に活用できるイベント等も企画し、来場者に喜んでいただきたいと思います。とおっしゃっていました。

ちなみに、特等席はどこですか?と伺うと、「投影機が邪魔にならず、南側の空が見やすい位置がお勧めです。当館の場合、中央から後方にかけての左右の座席が見やすいですよ」との事でした。



北網圏北見文化センター

## 北網圏北見文化センター

〒090-0015 北海道北見市公園町1

TEL.0157-23-6700 FAX.0157-31-8344

<http://business4.plala.or.jp/bunsen21/index.html>

【開館時間】9:30~16:30